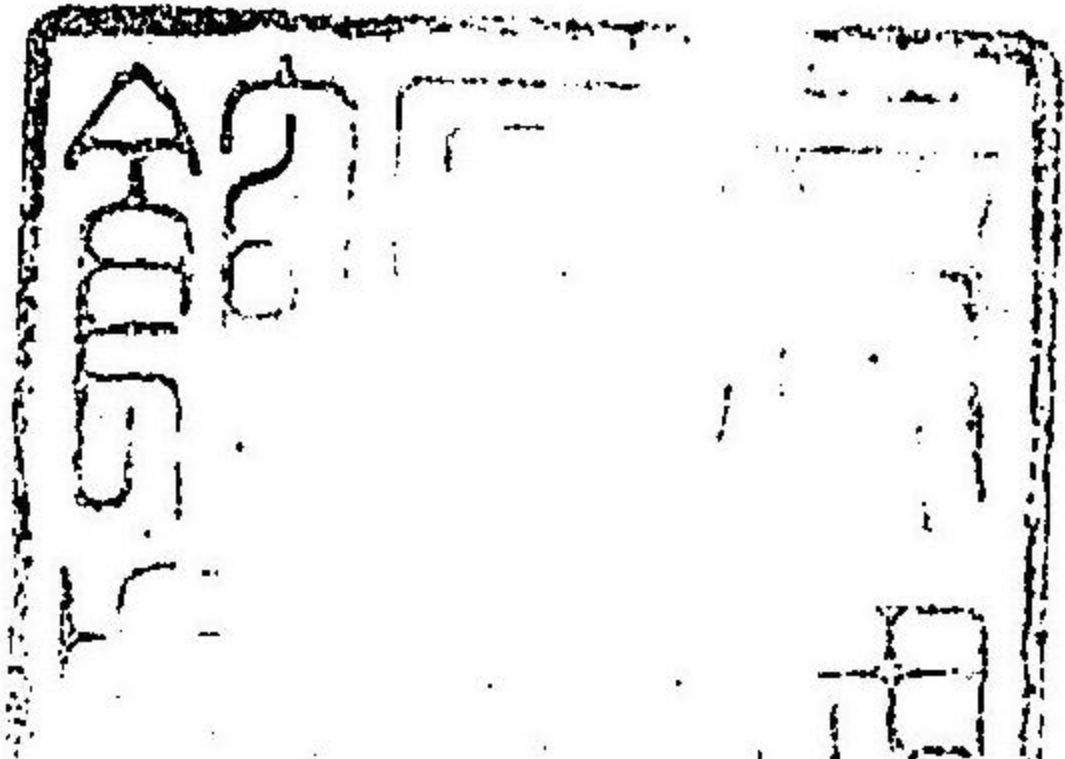


工ト35-17

40
591



刑法草案目錄

第一編 總則

第一章 法例

第二章 刑例

第三節 刑

第一節 刑期計算

第二節 刑ノ執行ノ猶豫及ヒ免除

第四節 時效

第五節 大赦、特赦、減刑及ヒ復權

至自
第第
一第
八一
條條

至自
第第
二第
十九
六條
條

至自
第第
二第
十七
七條
條

至自
第第
三第
十九
九條
條

至自
第第
四第
十四
四條
條

至自
第第
四第
十五
五條
條



第三章 犯罪ノ不成立及ヒ刑ノ減免

自第四十八條
至第五十七條

第四章 未遂罪

第五十八條
第五十九條

第五章 併合罪

自第六十條
至第六十九條

第六章 再犯

自第七十條
至第七十九條

第七章 共犯

自第八十條
至第八十九條

第八章 酌量減輕

自第九十條
至第九十九條

第九章 加減例

自第一百條
至第一百零九條

第二編 罪名

第一章 皇室ニ對スル罪

自第一百十條
至第一百零九條

第二章 内亂ニ關スル罪

自第一百十條
至第一百零九條

第三章 外患ニ關スル罪

自第一百一十條
至第一百零九條

第四章 國交ニ關スル罪

自第一百一十條
至第一百零九條

第五章 公權ニ對スル罪

第一節 公務ノ執行ヲ妨害スル罪

自第一百十條
至第一百零九條

第二節 選舉ニ關スル罪

自第一百一十條
至第一百零九條

第三節 囚徒逃走ノ罪

自第一百一十條
至第一百零九條

第四節 罪人藏匿及ヒ罪證湮滅ノ罪

自第一百一十條
至第一百零九條

第六章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 多衆聚會ノ罪

自第一百十條
至第一百零九條

第二節 銃礮、彈藥ニ關スル罪

第三百三十五條

第三節 放火、失火ノ罪

第三百三十七條

第四節 溢水及ヒ水利ニ關スル罪

第三百四十六條

第五節 往來通信ヲ妨害スル罪

第三百五十四條

第六節 住所ヲ侵ス罪

第三百六十三條

第七節 秘密ヲ侵ス罪

第三百六十八條

第七章 衛生ニ關スル罪

第一節 阿片煙ニ關スル罪

第三百七十一條

第二節 飲料水及ヒ飲食物ニ關スル罪

第三百七十九條

第三節 傳染病ノ豫防ニ關スル罪

第三百八十六條

第四節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

第三百九十二條

第八章 信用ヲ害スル罪

第一節 通貨偽造ノ罪

第三百九十三條

第二節 文書偽造ノ罪

第三百九十八條

第三節 有價券偽造ノ罪

第三百九十九條

第四節 印章偽造ノ罪

第四百零七條

第五節 度量衡偽造ノ罪

第四百零八條

第六節 偽證ノ罪

第四百二十三條

第七節 誣告ノ罪

第四百二十四條

第九章 風俗ヲ害スル罪

第一節 猥褻、姦淫及ヒ重婚ノ罪

自第二百二十六條
至第二百三十六條

第二節 賭博及ヒ富籤ニ關スル罪

自第二百三十七條
至第二百四十一條

第三節 神佛及ヒ死屍ニ關スル罪

自第二百四十二條
至第二百四十六條

第十章 官吏、公吏及ヒ議員ノ職務ニ關

スル罪

自第二百四十七條
至第二百五十六條

第十一章 生命、身體ニ對スル罪

第一節 殺人ノ罪

自第二百五十七條
至第二百六十二條

第二節 傷害ノ罪

自第二百六十三條
至第二百六十七條

第三節 過失殺傷ノ罪

自第二百六十八條
至第二百七十條

第四節 墮胎ノ罪

自第二百七十一條
至第二百七十五條

第五節 老幼者、疾病者ノ保護ヲ缺ク罪

自第二百七十六條
至第二百七十九條

第十二章 自由ニ對スル罪

第一節 逮捕及ヒ監禁ノ罪

第二百八十一條

第二節 脅迫ノ罪

自第二百八十二條
至第二百八十四條

第三節 人ヲ略取スル罪

自第二百八十五條
至第二百八十九條

第十三章 名譽ニ對スル罪

自第二百九十條
至第二百九十二條

第十四章 財産ニ對スル罪

第一節 賊盜ノ罪

自第二百九十三條
至第二百九十七條

第一款 竊盜ノ罪

第二百九十八條

第二款 強盜ノ罪

自第二百九十九條
至第三百零五條

第三款 恐喝盜ノ罪

第三百六條

第四款 詐欺盜ノ罪

第三百八條

第二節 占有物橫領ノ罪

第三百十一條

第三節 贓物ニ關スル罪

第三百十六條

第四節 財物毀棄ノ罪

第三百十九條

刑法草案

第一編 總則

第一章 法例

第一條 法律ニ於テ罰ス可キ行爲ヲ重罪及ヒ輕罪トス

第二條 犯罪後ノ法律ニ因リ刑ノ變更アリタル場合ニ於テ裁判確定

前ナルトキハ其最モ輕キモノヲ適用ス

刑ノ時効及ヒ刑ノ執行ニ關スル規定ハ新法ニ從フ

第三條 法律ハ内外國人ヲ問ハス帝國内ニ於テ犯シタル罪ニ適用ス

公海ニ於ケル帝國船舶内ノ犯罪及ヒ國際法上海賊ト認ム可キ犯罪

ニ付テモ亦同シ

第四條 法律ハ治外法權ヲ有スル外國ニ於テ帝國人ノ犯シタル罪ニ適用ス

但帝國內ニノミ施行ス可キ法律ハ此限ニ在ラス

第五條 法律ハ内外國人帝國外ニ於テ帝國又ハ帝國人ニ對シ犯シタル重罪ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第六條 法律ハ帝國人帝國外ニ於テ放火、溢水、強姦其他生命、身體、自由及ヒ財産ニ對シ犯シタル重罪ニ付テモ亦之ヲ適用ス

帝國ノ官吏、公吏帝國外ニ於テ犯シタル職務ニ關スル罪ニ付テモ亦同シ

二

第七條 外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル事件ト雖モ更ニ處罰スルコト

ヲ妨ケス但犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ一部又ハ全部ノ執行ヲ受ケタルトキハ裁判所ハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第八條 此刑法ノ總則ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク外他ノ法律ニ於テ刑ヲ定メタルモノニモ亦之ヲ適用ス

第二章 刑例

第一節 刑

第九條 死刑、懲役、禁錮、剝奪公權、監視及ヒ罰金ヲ重罪ノ刑トス

拘留、科料ヲ輕罪ノ刑トス

沒收ヲ重罪、輕罪ノ附加刑トス

三

第十條 死刑ハ獄内ニ於テ絞首シテ之ヲ執行ス

第十一條 死刑ハ司法大臣ノ命令アルニ非サレハ之ヲ執行スルコトヲ得ス

死刑ノ言渡ヲ受ケタル婦女懷胎ナルトキハ分娩後別段命令アルニ非サレハ之ヲ執行スルコトヲ得ス

第十二條 死刑ハ大祀、令節、國祭ノ日ニ之ヲ執行セス

第十三條 懲役ハ無期及ヒ有期トシ有期懲役ハ一日以上十五年以下トス

懲役ハ懲役場ニ拘留シ定役ニ服ス但六月以下ノ懲役ハ拘留場ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得

第十四條 禁錮ハ無期及ヒ有期トシ有期禁錮ハ一日以上十五年以下トス

禁錮ハ禁錮場ニ拘留シ本人ノ請求アルニ非サレハ定役ニ服セス但六月以下ノ禁錮ハ拘留場ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得

第十五條 剝奪公權ハ左ノ效果ヲ生ス

- 一 法律ニ定メタル選舉ニ付キ選舉權、被選舉權ノ喪失
- 二 官職、公職ノ喪失及ヒ之ニ就クノ無能力
- 三 勳章、年金及ヒ位記ヲ有スルノ無能力
- 四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ禁止
- 五 兵籍ニ入ルノ無能力

六 後見人、後見監督人、保佐人及ヒ親族會員タルノ無能力

第十六條 剝奪公權ハ無期及ヒ有期トシ有期剝奪公權ハ三年以上十

五年以下トス

死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ト共ニ言渡ス可キ剝奪公權ハ當然
無期トス

十年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ト共ニ言渡ス可キ剝奪公權ハ無期

又ハ有期トシ十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ト共ニ言渡ス可キ剝奪公權

ハ十年以下トス

有期ノ懲役又ハ禁錮ト共ニ剝奪公權ノ言渡ヲ受ケタル者ハ其懲役

又ハ禁錮ノ滿限若クハ其執行ノ免除ニ至ルマテ當然公權ヲ剝奪セ

ラレタルモノトス

第十七條 監視ハ左ノ效果ヲ生ス

一 犯罪ノ地及ヒ被害者所在地ノ警察官廳ハ被監視人ニ對シ其管

轄地ノ全部又ハ一部ニ立入ルヲ禁ズルヲ得ルコト

二 警察官ハ必要ト思料スル場合ニ於テハ何時ニテモ被監視人ノ

家宅ニ就キ搜索及ヒ物件差押ヲ爲スヲ得ルコト

第十八條 監視ノ期間ハ一年以上五年以下トス

第十九條 死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル者特赦又

ハ時効ニ因リ其執行ヲ免除ヲ得又ハ減刑ニ因リ有期ノ懲役若クハ

禁錮ニ減輕セラレタルトキハ當然五年間監視ニ付セラレタルモノ

トス

懲役又ハ禁錮ト共ニ監視ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サレタルトキハ出獄中當然監視ニ付セラレタルモノトス

第二十條 罰金ハ一圓以上トス

第二十一條 罰金ヲ納完スルコト能ハサルトキハ一日以上二年以下ノ期間獄舎ニ留置ス但服役セシムルコトヲ得

裁判所ハ罰金ノ言渡ト共ニ其不完納ノ場合ニ於ケル留置ノ期間ヲ定メ之ヲ言渡ス可シ

罰金ノ言渡ヲ受ケタル者其幾分ヲ納メタルトキハ言渡サレタル罰金ノ額ト留置日數トノ割合ニ從ヒ其金額ニ相當スル日數ヲ控除シ

テ留置ス

留置期間内罰金ヲ納ムルトキハ前項ノ割合ヲ以テ殘日數ニ充ツ

第二十二條 拘留ハ一日以上一月以下トシ拘留場ニ拘置ス但本人ノ請求アルトキハ定役ニ服セシムルコトヲ得

第二十三條 科料ハ十錢以上三十圓以下トス

第二十四條 科料ヲ納完スルコト能ハサルトキハ一日以上一月以下ノ期間拘留場ニ留置ス但服役セシムルコトヲ得

裁判所ハ科料ノ言渡ト共ニ其不完納ノ場合ニ於ケル留置ノ期間ヲ定メ之ヲ言渡ス可シ

第二十一條第三項第四項ノ規定ハ科料ニ付テモ亦之ヲ準用ス

第二十五條 左ニ記載シタル物件ハ之ヲ沒收スルコトヲ得但犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有者ナキトキニ限ル

- 一 犯罪ヲ組成シタル物件
- 二 犯罪ノ用ニ供シタル物件
- 三 犯罪ニ因リ得タル物件

第二十六條 輕罪ノ刑ニ付テハ別段ノ規定アルニ非サレハ沒收スルコトヲ得ス

第二節 刑期計算

第二十七條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス全一日トシテ之ヲ計算ス

放免ハ刑期終了ノ翌日午前ニ於テ之ヲ行フ

第二十八條 刑期ハ裁判確定ノ翌日ヨリ起算ス

拘禁セラレサル日數ハ裁判確定後ト雖モ懲役禁錮又ハ拘留ノ刑期ニ算入セス

有期ノ懲役又ハ禁錮ト共ニ言渡サレタル剝奪公權及ヒ監視ノ期間ハ其懲役又ハ禁錮ノ滿限若クハ其執行ノ免除アリタル翌日ヨリ起算ス

死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ノ執行ノ免除ヲ得タル者ニ對スル監視ノ期間ハ其免除アリタル翌日ヨリ起算シ減刑ニ因リ死刑又ハ

無期ノ懲役若クハ禁錮ヲ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ減輕セラレタル者
ノ監視ノ期間ニ付テハ前項ノ例ニ依ル

第二十九條 未決勾留ノ日數ハ左ノ區別ニ從ヒ本刑ニ算入ス但本刑

ノ一日又ハ一圓ニ當ラサル勾留日數ハ之ヲ除去ス

一 懲役一日ニ付キ勾留六日

二 禁錮、拘留一日ニ付キ勾留三日

三 罰金、科料一圓ニ付キ勾留二日但一圓以下ト雖モ亦同シ

第三節 刑ノ執行ノ猶豫及ヒ免除

第三十條 初犯ニシテ懲役又ハ禁錮六月以下ノ言渡ヲ受ケタル者ニ

付テハ情狀ニ因リ裁判言渡ノ日ヨリ時効ノ期間内其執行ヲ猶豫ス

ルコトヲ得

第三十一條 初犯ニシテ罰金ノ言渡ヲ受ケ納完スルコト能ハサル爲

メ留置ス可キ者ニ付テハ其日數ノ如何ニ拘ハラヌ前條ノ規定ニ從

ヒ時効ノ期間内其執行ヲ猶豫スルコトヲ得但懲役又ハ禁錮ヲ執行

ス可キ者ニ付テハ此限ニ在ラス

第三十二條 懲役又ハ禁錮六月以上ニ處セラレタル者ト雖モ他人ノ

生命、身體又ハ自由ニ直接ナル損害ヲ生セサル事件又ハ財産ニ對

スル犯罪ニシテ其損害ノ全部ヲ賠償シタル事件ニ付キ自首減輕セ

ラレタルトキハ第二十條ノ規定ニ從ヒ其執行ヲ猶豫スルコトヲ得

第三十三條 刑ノ執行猶豫ハ刑ノ執行前檢事ノ申立ニ因リ裁判所之

ヲ決定ス此場合ニ於テハ其決定アルマテ刑ノ執行ヲ停止ス

第三十四條 剝奪公權ヲ科シ又ハ監視ニ付セラレタル者ニ付テハ第

三十條乃至第三十二條ノ規定ヲ適用セス

第三十五條 刑ノ執行猶豫ノ期間内更ニ罰金以外ノ刑ニ該ル可キ重

罪ヲ犯ササルトキハ其猶豫セラレタル刑ノ執行ヲ免除ス

第三十六條 刑ノ執行猶豫ノ期間内更ニ罰金以外ノ刑ニ該ル可キ重

罪ヲ犯シタルトキハ當然後刑ト共ニ前刑ヲ執行ス

第三十七條 懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者更ニ重罪ヲ犯スノ虞ナ

シトスルトキハ有期刑ニ付テハ其刑期三分ノ一無期刑ニ付テハ十

五年ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スコトヲ得

第三十八條 假出獄中更ニ罰金以外ノ刑ニ該ル可キ重罪ヲ犯ササル

トキハ懲役又ハ禁錮ノ執行ヲ免除ス但罰金以外ノ刑ニ該ル可キ重

罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入セス

第三十九條 拘留ニ處セラレタル者ハ情狀ニ因リ何時ニテモ行政ノ

處分ヲ以テ其執行ヲ免除スルコトヲ得

罰金又ハ科料ヲ納完スルコト能ハサルニ因リ留置セラレタル者及

ヒ懲治ノ處分ヲ受ケタル者ニ付テモ亦同シ

第四節 時効

第四十條 時効ハ法律ニ定メタル期間内刑ノ執行ヲ遁レタルニ因リ

其執行ノ免除ヲ得ルモノトス

第四十一條 時效ノ期間ハ左ノ如シ

一 死刑ハ三十年

二 無期ノ懲役又ハ禁錮ハ二十年

三 有期ノ懲役又ハ禁錮ハ十年以上ハ十五年、三年以上ハ十年、三

年未滿ハ五年

四 罰金ハ三年

五 拘留、科料及ヒ沒收ハ一年

第四十二條 剝奪公權及ヒ監視ハ時效ヲ得ス

第四十三條 時效ノ期間ハ刑ノ執行ニ付テノ拘禁ヲ遁レタル日ヨリ

起算ス若シ拘禁ヲ受ケサルトキハ裁判確定ノ日ヨリ起算ス

罰金、科料及ヒ沒收ハ裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十四條 時效ハ刑ノ執行ニ付キ犯人ヲ逮捕シタルニ因リ又ハ逮

捕ニ付テノ司法大臣ノ發シタル命令ニ因リ之ヲ中斷ス

第五節 大赦、特赦、減刑及ヒ復權

第四十五條 大赦ハ裁判言渡ノ效力ヲ全減ス但既ニ徵收シタル罰

金、科料及ヒ沒收シタル物件ニ付テハ其返還ヲ求ムルコトヲ得ス

第四十六條 特赦ハ刑ノ執行ヲ免除シ減刑ハ其執行ヲ減輕ス

第四十七條 復權ハ將來ノ公權ヲ復シ當然監視ヲ免除ス

第三章 犯罪ノ不成立及ヒ刑ノ減免

第四十八條 法令又ハ正當ノ業務ニ因リ爲シタル行爲ハ之ヲ罰セス

第四十九條 急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲メ已ムヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス但不正ノ行爲ニ因リ自ラ侵害ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス
 若シ必要ナル程度ヲ超ヘタルトギハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第五十條 自己又ハ他人ノ生命、身體、自由若クハ財産ニ對スル現在ノ危難ヲ避クル爲メ已ムヲ得サルニ出テタル行爲ハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕シ若クハ之ヲ罰セス但職務上特別ノ義務アル者ハ此限ニ在ラス

第五十一條 罪ヲ犯ス意ナキノ行爲ハ之ヲ罰セス但法令ニ於テ不注

意ノ行爲ヲ罰スルハ此限ニ在ラス

法令ヲ知ラサルヲ以テ罪ヲ犯スノ意ナシト爲スコトヲ得ス

第五十二條 精神病者又ハ意識喪失者ノ行爲ハ之ヲ罰セス但精神病ニ罹ル者ハ情狀ニ因リ監置ノ處分ヲ命スルコトヲ得

第五十三條 十歳ニ滿サル者ノ行爲ハ之ヲ罰セス但滿八歳以上ノ者ノ行爲ニシテ重罪ニ該ルトキハ情狀ニ因リ滿十五歳ニ過キサル時
 間懲治ノ處分ヲ命スルコトヲ得

第五十四條 十歳以上十五歳ニ滿サル者ノ行爲ハ是非ノ辨別ナキトキハ之ヲ罰セス但其行爲重罪ニ該ルトキハ情狀ニ因リ滿二十歳ニ過キサル時
 間懲治ノ處分ヲ命スルコトヲ得

若シ是非ノ辨別アリテ犯シタルトキハ其刑ヲ減輕ス

第五十五條 十五歳以上二十歳ニ滿サル者ノ行爲ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第五十六條 瘖啞者ノ行爲ハ其刑ヲ減輕シ若クハ之ヲ罰セス但之ヲ罰セサル場合ニ於テハ情狀ニ因リ五年ニ過キサル時間懲治ノ處分ヲ命スルコトヲ得

第五十七條 罪ヲ犯シ未タ官ニ發覺セサル前ニ於テ自首シタル者ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得
被害者ノ告訴ヲ待テ訴追ス可キ罪ニ付テハ被害者ニ首服スルモ亦自首ノ效アリトス

第四章 未遂罪

第五十八條 犯罪ノ實行ニ著手シ意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ之ヲ遂ケサル者ハ其刑ヲ減輕ス

未遂罪ヲ罰スル場合ハ各本條ニ於テ之ヲ定ム

第五十九條 犯罪ノ實行ニ著手シ自己ノ意思ニ因リ之ヲ止メタルトキハ現ニ生シタル結果ニ從テ之ヲ罰ス

第五章 併合罪

第六十條 確定裁判ヲ經サル數罪ヲ併合罪トス若シ或罪ニ付キ確定裁判アリタルトキハ單ニ其罪ト其裁判確定前ニ犯シタル罪トヲ併合罪トス

第六十一條 併合罪中其一罪ニ付キ死刑ニ處ス可キトキハ他ノ刑ヲ科セス但剝奪公權及ヒ沒收ハ此限ニ在ラス

其二罪ニ付キ無期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス可キトキモ亦他ノ刑ヲ科セス但剝奪公權、罰金、科料及ヒ沒收ハ此限ニ在ラス

第六十二條 併合罪中二個以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮アルトキハ其最モ重キ罪ニ付キ科ス可キ刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノヲ以テ長期トス但各罪ニ付キ科ス可キ刑ノ長期ヲ合算シタルモノニ超ユルコトヲ得ス

併合罪中重キ罪ノ刑ニ短期ナシト雖モ他ノ罪ノ刑ニ短期アルトキハ其短期以下ニ下スコトヲ得ス若シ二個以上ノ短期アルトキハ其

最モ重キ短期以下ニ下スコトヲ得ス

懲役ト禁錮トハ懲役ヲ以テ重シトス但禁錮ノ刑期懲役ノ刑期ヨリ長キトキハ懲役ノ刑期ヲ二倍シテ禁錮ノ刑期ニ比較シ期限ノ長キモノヲ以テ重シトス

第六十三條 罰金ト他ノ刑トハ之ヲ併科ス但第六十一條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

二個以上ノ罰金ハ各罪ニ付キ科ス可キ罰金合算額以下ニ於テ處斷ス

第六十四條 剝奪公權又ハ監視ト他ノ刑トハ之ヲ併科ス若シ二個以上ノ剝奪公權又ハ監視アルトキハ其期限ノ最モ長キモノヲ科ス

第六十五條 沒收ハ之ヲ併科ス

第六十六條 併合罪中既ニ裁判ヲ經タル罪ト未タ裁判ヲ經サル罪トアルトキハ裁判ヲ經サル罪ニ付キ更ニ處斷シ前判ノ刑ト後判ノ刑トヲ併セテ執行ス

前項ノ場合ニ於テ死刑ヲ執行ス可キトキハ剝奪公權及ビ沒收ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ執行ス可キトキハ剝奪公權、罰金、科料及ビ沒收ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス有期ノ懲役又ハ禁錮ノ執行ハ其最モ重キ罪ニ付キ科ス可キ刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノニ超ユルコトヲ得ス但第六十二條第三項ノ規定ハ有期ノ懲役又ハ禁錮ノ執行ニ付テモ亦之ヲ準用ス

剝奪公權及ビ監視ハ其期限ノ最モ長キモノヲ執行ス

第六十七條 併合罪ニ付キ三個以上ノ裁判確定シタルトキハ前條ノ例ニ依リ之ヲ執行ス

第六十八條 併合罪ニ付キ處斷セラレタル者或罪ニ付キ大赦ヲ受ケタル場合ニ於テハ赦令ノ定ムル所ニ從ヒ裁判所ノ命令ヲ以テ特ニ大赦ヲ受ケサル罪ニ付キ刑ヲ定ム

第六十九條 輕罪ノ刑ハ之ヲ併科ス但第六十一條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第七十條 一個ノ行爲又ハ牽連シタル行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸レタルモノハ其最モ重キ刑ヲ以テ處斷ス

第六十二條第三項及ヒ第六十五條ノ規定ハ本條ノ場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

第六章 再犯

第七十一條 或種類ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處セラレタル者其執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル日ヨリ十年内ニ更ニ同種類ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ再犯トス

死刑ノ執行ノ免除アリタル者ニ付テモ亦同シ

第七十二條 先ニ併合罪ニ付キ處斷セラル者其併合罪中再犯ニ因リ刑ヲ加重ス可キ罪アルトキハ其罪最重ノモノニ非スト雖モ再犯ノ場合ニ於テ其刑ヲ加重ス

第七十三條 再犯ニ付キ刑ヲ加重ス可キ罪ハ各本條ニ於テ之ヲ定ム

第七十四條 再犯ノ刑ハ其罪ニ付キ法律ニ定メタル刑ノ二倍トス但剝奪公權及ヒ監視ハ加重スルノ限ニ在ラス

第七十五條 裁判確定後再犯者タルコトヲ發見シタルトキハ裁判所ノ命令ニ依リ前條ノ規定ニ從ヒ加重ス可キ刑ヲ定ム

第七十六條 三犯以上ノ者ト雖モ仍ホ再犯ノ例ニ同シ

第七章 共犯

第七十七條 二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタル者ハ皆正犯トス

第七十八條 人ヲ教唆シテ罪ヲ犯ガシメタル者ハ正犯ニ准ス

第七十九條 正犯ヲ幫助シタル者ハ從犯トス

第八十條 教唆者ヲ教唆シタル者ハ正犯ニ准シ教唆者ヲ幫助シ又ハ從犯ヲ教唆シタル者ハ從犯ニ准ス

第八十一條 從犯ノ刑ハ正犯ノ刑ニ照シテ減輕ス

第八十二條 輕罪ノ教唆者及ヒ從犯ハ別段ノ規定アルニ非サレハ之ヲ罰セス

第八十三條 犯人ノ身分ニ因リ構成ス可キ罪ヲ共ニ犯シタルトキハ其身分ナキ者ト雖モ仍ホ共犯トス

身分ニ因リ特ニ刑ノ輕重アルトキハ其身分ナキ者ニハ通常ノ刑ヲ科ス

第八章 酌量減輕

第八十四條 犯罪ノ情狀憫諒ス可キモノハ酌量シテ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第八十五條 法律ニ於テ刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キモノト雖モ仍ホ酌量減輕ヲ爲スコトヲ得

第九章 加減例

第八十六條 酌量減輕ヲ除ク外刑ヲ減輕ス可キ一個又ハ數個ノ原由アルトキハ左ノ例ニ從テ之ヲ減輕ス

- 一 死刑ヲ減輕ス可キトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處ス
- 二 無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ五年以上ノ懲役又ハ

禁錮ニ處ス

三 有期ノ懲役又ハ禁錮若クハ拘留ヲ減輕ス可キトキハ其長期ノ

三分ノ二以下ニ處ス但各本條ニ於テ特ニ短期ヲ定メタル場合

ニ於テハ其三分ノ一ヲ減シタルモノヲ以テ短期トス

四 罰金、科料ヲ減輕ス可キトキハ其多額ノ三分ノ二以下ニ處ス

第八十七條 酌量減輕ヲ除ク外刑ヲ減輕ス可キ場合ニ於テ各本條ニ

二個以上ノ刑名アルトキハ先ツ適用ス可キ刑ヲ定メ其刑ヲ減輕ス

第八十八條 酌量減輕ヲ爲ス可キトキハ左ノ例ニ依ル

一 死刑ヲ減輕ス可キトキハ無期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ有期ノ懲役又ハ禁錮

ニ處ス

三 有期ノ懲役又ハ禁錮ニ短期アルモノヲ減輕ス可キトキハ其短

期以下ニ處ス

第八十九條 同時ニ刑ヲ加重減輕ス可キトキハ左ノ順序ニ依ル

一 再犯加重

二 法律上ノ減輕

三 併合罪ノ加重

四 酌量減輕

第九十條 有期ノ懲役又ハ禁錮ハ加重シテ三十年ヲ超ユルコトヲ得ス

剝奪公權及ヒ監視ハ加重減輕セス

第二編 罪名

第一章 皇室ニ對スル罪

第九十一條 天皇、皇后、皇太子、皇太孫ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘン
トシタル者ハ死刑ニ處ス

第九十二條 天皇、皇后、皇太子、皇太孫ニ對シ不敬ノ行爲アル者ハ五
年以下ノ懲役ニ處ス

神皇又ハ前代ノ天皇ニ對シ不敬ノ行爲アル者亦同シ

第九十三條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處シ危害ヲ加ヘ
ントシタル者ハ無期懲役ニ處ス

第九十四條 皇族ニ對シ不敬ノ行爲アル者ハ四年以下ノ懲役ニ處ス

前代ノ皇族ニ對シ不敬ノ行爲アル者亦同シ

第九十五條 本章ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ハ監視ニ付ス

第二章 内亂ニ關スル罪

第九十六條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルコ

トヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ五年以

上ノ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ十年以下ノ

禁錮ニ處ス

三 附和隨行其他軍ニ暴動ニ干與シタル者ハ五年以下ノ禁錮ニ處

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第九十七條 暴動ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十八條 兵器、金穀ヲ資給シ又ハ其他ノ行爲ヲ以テ暴動又ハ其豫備陰謀ヲ幫助シタル者ハ七年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十九條 本章ノ罪ヲ犯シ死刑又ハ無期若クハ一年以上ノ禁錮ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科ス

第一百條 暴動ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ暴動ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル者ハ其刑ヲ免ス

第三章 外患ニ關スル罪

第一百一條 外國ニ通謀シテ帝國ニ對シ戰端ヲ開カシメ又ハ敵國ニ與シテ帝國ニ抗敵シタル者ハ死刑ニ處ス

第一百二條 帝國ニ屬シ又ハ其占用スル城塞、陣營、軍隊、港灣、艦船其他軍用ノ土地、建造物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

兵器、彈藥其他直接ニ戰鬪ノ用ニ供スル物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第一百三條 私有ニ屬スル兵器、彈藥、船舶其他直接ニ戰鬪ノ用ニ供スル物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第一百四條 敵國ヲ利スル爲メ帝國ニ屬シ又ハ其占用スル城塞、陣營、

港灣、艦船、兵器、彈藥、汽車、電車、鐵道、電線、其他軍用ノ土地、建造物ヲ
毀壞若クハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ死刑又ハ無
期懲役ニ處ス

第二百五條 敵國ノ爲メニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタル者
ハ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス

軍事上又ハ政事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタル者亦同シ

戰時ニ非スト雖モ前項ノ機密ヲ外國ニ漏泄シタル者ハ有期懲役ニ
處ス

第二百六條 前數條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利
益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ有期懲役ニ處ス

第二百七條 第一百一條乃至第二百六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百八條 第一百一條乃至第二百六條ニ記載シタル罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ
爲シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百九條 本章ノ罪ヲ犯シ死刑又ハ無期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪
公權ヲ科シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ
付ス

第三百十條 本章ノ規定ハ外國人ニ對シテハ帝國內ニ在留シテ犯シタ
ル場合ニ限り之ヲ適用ス

第三百十一條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ付テモ亦之ヲ
適用ス

第四章 國交ニ關スル罪

第一百十二條 帝國ニ滞在スル締盟國ノ君主又ハ大統領ニ對シ暴行ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

其行爲侮辱ニ係ルモノハ三年以下ノ懲役ニ處ス但外國政府ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第一百十三條 帝國ニ派遣セラレタル締盟國ノ使節ニ對シ侮辱ノ行爲アル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第一百十四條 締盟國ニ對シ侮辱ヲ加フルノ目的ヲ以テ其國ノ國旗其他ノ國章ヲ破毀汚損又ハ除去シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但外國政府ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第一百十五條 締盟國ニ對シ私ニ戰鬪ヲ爲スノ目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス但自首シタル者ハ其刑ヲ免ス

第一百十六條 外國交戦ノ際局外中立ノ命令ニ違背シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但帝國人ニ付テハ外國ニ於テ犯シタルトキ亦同シ

第五章 公權ニ對スル罪

第一節 公務ノ執行ヲ妨害スル罪

第一百十七條 官吏、公吏又ハ議員ノ職務ノ執行ヲ妨害スル爲メ又ハ此等ノ者ヲシテ或ル處分ヲ爲サシムル爲メ暴行、脅迫ヲ爲シタル

者ハ四年以下ノ懲役ニ處ス

四十

官署、公署又ハ議會ニ對シ暴行、脅迫ヲ爲シタル者亦同シ

第百十八條 官吏、公吏又ハ議員ヲシテ其職ヲ辭セシムル爲メ暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百十九條 官吏、公吏又ハ議員ノ職務ヲ執行スルニ當リ其面前ニ於テ侮辱ヲ爲シ又ハ其面前ニ非スト雖モ其職務ニ對シ文書、圖畫又ハ偶像ヲ公示シ若クハ公然ノ雜劇、歌曲又ハ演說ヲ以テ侮辱シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

官署、公署又ハ議會ニ對シ文書、圖畫又ハ偶像ヲ公示シ若クハ公然ノ雜劇、歌曲又ハ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第百二十條 官吏、公吏ノ施シタル封印又ハ差押ノ標示ヲ毀損又ハ汚損シテ無効タラシメタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節 選舉ニ關スル罪

第百二十一條 議員又ハ吏員ノ選舉ノ際投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ投票ヲ得サラシムル目的ヲ以テ暴行、脅迫又ハ詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十二條 前條ノ目的ヲ以テ金錢、物品其他財産上ノ利益ヲ授與シ又ハ授與スル約束ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓

以下ノ罰金ニ處ス

其授與ヲ受ケ又ハ之ヲ受クル約束ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十三條 本節ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科ス

第三節 囚徒逃走ノ罪

第二百二十四條 既決未決ノ囚徒逃走シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

若シ獄舎又ハ械具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シ又ハ二人以上通謀シテ逃走シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十五條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器又ハ器具ヲ給與シ其他逃走ノ幫助ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十七條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシメタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十八條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四節 罪人藏匿及ヒ罪證湮滅ノ罪

第二百二十九條 逃走ノ囚徒又ハ罰金ヲ除ク外重罪ノ刑ニ該ル可キ罪ヲ犯シタル者ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ二年以下ノ懲役

又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十條 他人ノ刑事被告事件ニ關スル證憑ヲ湮滅シ又ハ偽造變造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十一條 本節ノ罪ハ被告人ノ親族ニシテ被告人ノ利益ノ爲メニ犯シタルトキハ之ヲ罰セス

第六章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 多衆聚合ノ罪

第三百三十二條 何等ノ目的ヲ問ハス之ヲ達スル爲メ多衆聚合シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十三條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ目的ヲ達スル爲メ多衆聚合シ官吏又ハ公吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ解散セサルトキハ首魁ハ三年以上ノ懲役ニ處シ其他ノ者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十四條 本節ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科スルコトヲ得

第二節 銃礮、彈藥ニ關スル罪

第三百三十五條 允許ヲ得スレテ銃礮、彈藥ヲ製造、輸入シ又ハ販賣ス

ル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三百三十六條 前條ノ物品ヲ私ニ所持又ハ所有シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三節 放火、失火ノ罪

第三百二十七條 火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建造物、瀛車、電車、船舶又ハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第三百二十八條 火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在セザル建造物、瀛車、電車、船舶又ハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ無期又ハ五年

以上ノ懲役ニ處ス

自己ノ所有ニ係ル前項ノ物ヲ燒燬シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第三百二十九條 火ヲ放テ山林田野ノ竹木、穀麥又ハ露積シタル柴草

竹木其他ノ物ヲ燒燬シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキト雖モ放火ノ爲メ公共ノ危難ヲ生ス可キ虞アリタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス若シ他人ノ物ニ延燒シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四百十條 前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四百十一條 第三百二十八條第三百二十九條ニ記載シタル物自己ノ所

有ニ係ルトキト雖モ 差押ヲ受ケ、物權ヲ設定シ又ハ貸與シ若クハ
保險ニ付シタルモノヲ燒燬シタルトキハ他人ノ物ヲ燒燬シタル者
ノ刑ニ同シ

第四百十二條 火災ノ際鎮火用ノ物件ヲ隱匿又ハ毀壞シ若クハ其他
ノ方法ヲ以テ鎮火ヲ妨害シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第四百十三條 第三百三十七條乃至第三百三十九條第四百十一條及ヒ第
百四十二條ノ罪ヲ犯シ死刑又ハ無期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公
權ヲ科スルコトヲ得一年以上ノ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公
權ヲ科シ之ヲ監視ニ付スルコトヲ得

第四百十四條 過失ニ因リ第三百三十七條乃至第三百三十九條及ヒ第百

四十一條ニ記載シタル物ヲ燒燬シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處
ス

第四百十五條 火藥、蒸氣罐其他激發ス可キ物品ヲ破裂セシメテ第
百三十七條乃至第三百三十九條及ヒ第四百十一條ニ記載シタル物ヲ
毀壞シタル者ハ放火、失火ノ罪ニ同シ

第四節 溢水及ヒ水利ニ關スル罪

第四百十六條 溢水セシメテ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在ス
ル建造物、瀛車、電車又ハ鑛坑ニ損害ヲ生セシメタル者ハ死刑又ハ
無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第四百十七條 溢水セシメテ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在

セタル建造物、汽車、電車又ハ鑛坑ニ損害ヲ生セシメタル者ハ無期
又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第四百四十八條 溢水セシメテ前二條ニ記載シタル以外ノ物ニ損害ヲ
生セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第四百四十九條 第四百四十六條第四百四十七條ニ記載シタル物自己ノ所
有ニ係ルトキト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ設定シ又ハ貸與シ若クハ
保險ニ付シタルモノニ溢水セシメタルトキハ他人ノ物ニ溢水セシ
メタル者ノ刑ニ同シ

第四百五十條 水害ノ際防水用ノ物件ヲ隱匿又ハ毀壞シ若クハ其他ノ
方法ヲ以テ水防ヲ妨害シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第四百五十一條 第四百四十六條乃至第四百五十條ノ罪ヲ犯シ死刑又ハ無
期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科スルコトヲ得一年以上ノ有
期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付スルコトヲ
得

第四百五十二條 過失ニ因リ第四百四十六條乃至第四百四十九條ニ記載シ
タル物ニ溢水セシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百五十三條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ破壊シ其他水利ノ妨害トナル可
キ行爲又ハ溢水セシム可キ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又
ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節 往來通信ヲ妨害スル罪

第五百五十四條 公共ノ用ニ供スル陸路又ハ水路ヲ損壞シ又ハ壅塞
テ往來ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ二百圓以下
ノ罰金ニ處ス

第五百五十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ
罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第五百五十六條 鐵道又ハ其標識ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ
又ハ電車往來ノ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス
燈臺又ハ浮標ヲ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ船舶往來ノ危險ヲ
生セシメタル者亦同シ

第五百五十七條 瀛車又ハ電車ヲ顛覆シ又ハ破壞シタル者ハ無期又

ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

船舶ヲ覆没シ又ハ破壞シタル者亦同シ

第五百五十八條 第五百五十六條ノ罪ヲ犯シ因テ瀛車又ハ電車ノ顛覆破
壞又ハ船舶ノ覆没破壞ヲ致シタル者亦前條ノ刑ニ同シ

第五百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又
ハ無期懲役ニ處ス

第六十條 第五百五十四條第五百五十六條及ヒ第五百五十七條ノ未遂罪
ハ之ヲ罰ス

第六十一條 第五百五十六條第五百五十七條ニ掲ケタル行爲過失ニ由
タルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

其業務ニ従事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十二條 郵便、電信、電話ノ用ニ供スル物件ヲ毀損シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ其交通ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六節 住所ヲ侵ス罪

第百六十三條 故ナク人ノ住居シ又ハ看守シタル邸宅、建造物又ハ船舶内ニ侵入シ又ハ請求ヲ受ケテ退去セサル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
左ニ記載シタル精狀アルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

一 夜間ナルトキ

二 門戶、牆壁ヲ踰越、損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キタルトキ

三 兇器ヲ携帯シタルトキ

四 暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキ

五 二人以上ナルトキ

第百六十四條 窃盜又ハ強盜ヲ爲スノ目的ヲ以テ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十五條 故ナク皇居、禁苑、離宮、行在所又ハ皇陵内ニ侵入シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十六條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六十七條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ハ監視ニ付スルコトヲ得

第七節 秘密ヲ侵ス罪

第六十八條 故ナク人ノ信書其他秘密ノ書類ヲ開披シ又ハ隱匿シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條 醫師、產婆、藥劑師、辯護士、公證人、神職、僧侶其職業ニ於テ委託ヲ受ケタルコトニ因リ知り得タル人ノ秘密ヲ漏告シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮若クハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但官署ニ對スル陳述ハ此限ニ在ラス

第七十條 本節ノ罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第七章 衛生ニ關スル罪

第一節 阿片煙ニ關スル罪

第七十一條 阿片煙ヲ輸入シ製造シ又ハ販賣スル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第七十二條 阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入シ製造シ又ハ販賣スル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第七十三條 稅關官吏阿片煙又ハ其器具ノ輸入ヲ許シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第七十四條 阿片煙ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖リタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第七十五條 阿片煙ヲ吸食シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第七十六條 阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ所有シ若クハ所持シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第七十七條 本節ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ハ監視ニ付ス

第七十八條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ再犯例ヲ適用ス

第二節 飲料水及ヒ飲食物ニ關スル罪

第七十九條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚

穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第八十一條 人ノ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第八十二條 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害スヘキ物ヲ混入シタル者ハ有期懲役ニ處ス
因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第八十三條 公衆ノ飲料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞シ又ハ壅塞シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス因テ溢水セシメタル者ハ溢水ノ罪

ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百八十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ飲食物ニ混和シテ販賣スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十五條 第百七十九條第百八十條第百八十一條第百八十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三節 傳染病ノ豫防ニ關スル罪

第百八十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル一般ノ規則ニ違背シテ艦船ヨリ上陸シ又ハ陸地若クハ他ノ艦船ト交通シ又ハ物件ノ陸揚ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

艦船ノ長又ハ其職務ヲ行フ者自ラ前項ノ罪ヲ犯シ又ハ人ヲシテ之ヲ犯サシメ若クハ人ノ之ヲ犯スコトヲ知リテ制セサル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十七條 艦船ノ長又ハ其職務ヲ行フ者傳染病豫防ノ爲メ設ケタル一般ノ規則ニ違背シテ艦船ヲ進航又ハ碇泊セシメタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十八條 前二條ノ外傳染病豫防ノ爲メ設ケタル一般ノ規則ニ違背シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十九條 獸類ノ傳染病豫防ノ爲メ設ケタル一般ノ規則ニ違背シタル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條 傳染病患ノ診察又ハ其病毒ノ検査ヲ命セラレタル醫師
故ナク之ヲ肯セサルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
獸類傳染病ノ診察又ハ其病毒ノ検査ヲ命セラレタル醫師故ナク之
ヲ肯セサルトキ亦同シ

第四節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

第九十一條 允許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金
ニ處ス

第九十二條 允許ヲ得スシテ獸醫ノ業ヲ爲シタル者ハ五十圓以下
ノ罰金ニ處ス

第八章 信用ヲ害スル罪

第二節 通貨偽造ノ罪

第九十三條 行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ偽
造シ又ハ變造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第九十四條 行使ノ目的ヲ以テ内國ニ流通スル外國ノ金銀貨ヲ偽
造シ又ハ變造シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十五條 偽造、變造ノ貨幣、紙幣、兌換券又ハ外國ノ金銀貨ヲ輸
入シタル者ハ偽造、變造ノ刑ニ同シ

第九十六條 偽造、變造ノ貨幣、紙幣、兌換券又ハ外國ノ金銀貨ヲ行
使スル目的ヲ以テ之ヲ收得シタル者ハ三年以上ノ懲役ニ處シ之ヲ
行使シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條 前四條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第九十八條 貨幣、紙幣、兌換券又ハ外國ノ金銀貨ヲ收得シタル後
偽造又ハ變造ナルコトヲ知り之ヲ行使シタル者ハ其價額三倍以下
ノ罰金ニ處ス但一圓以下ニ下スコトヲ得ス

第九十九條 第九十三條第九十四條ニ記載シタル偽造、變造
ノ用ニ供スル目的ヲ以テ其器械又ハ原料ヲ準備シタル者ハ五年以
下ノ懲役ニ處ス

第二百條 本節ニ記載シタル罪ヲ犯シ無期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝
奪公權ヲ科シ一年以上ノ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科
シ之ヲ監視ニ付ス一年未滿ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科

之ヲ監視ニ付スルコトヲ得

第二節 文書偽造ノ罪

第二百一條 行使ノ目的ヲ以テ偽造シタル御璽、國璽若クハ御名ヲ
使用シ又ハ御璽、國璽若クハ御名ヲ不正ニ使用シテ詔書其他ノ文
書ヲ偽造シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス
行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル詔書其
他ノ文書ヲ増減、變換シタル者亦同シ

第二百二條 行使ノ目的ヲ以テ偽造シタル官印、公印又ハ官吏、公吏
ノ印章、署名ヲ使用シ又ハ官印、公印若クハ官吏、公吏ノ印章、署名ヲ
不正ニ使用シテ官文書又ハ公文書ヲ偽造シタル者ハ十年以下ノ懲

役ニ處ス

六十六

行使ノ目的ヲ以テ官印、公印ヲ押捺シ又ハ官吏、公吏ノ捺印、署名シタル官文書、公文書ヲ増減、變換シタル者亦同シ

前二項ノ外行使ノ目的ヲ以テ官吏、公吏ノ作ル可キ官文書、公文書ヲ偽造シ又ハ官文書、公文書ヲ増減、變換シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三條 官吏、公吏其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ詐僞ノ文書ヲ作り又ハ不正ニ文書ヲ増減、變換シタル者ハ印章、署名ノ有無ヲ區別シ前二條ノ例ニ依ル

第二百四條 行使ノ目的ヲ以テ偽造シタル他人ノ印章若クハ署名ヲ

使用シ又ハ他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シテ權利又ハ義務ニ關スル文書ヲ偽造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章ヲ押捺シ若クハ他人ノ署名シタル文書ニシテ權利又ハ義務ニ關スルモノヲ増減、變換シタル者亦同シ

第二百五條 官吏、公吏ヲ欺キ戶籍簿、登記簿其他權利又ハ義務ニ關スル公正證書ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百六條 醫師、官署又ハ公署ニ提出ス可キ診斷書若クハ死亡書ニ詐僞ノ記載ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金

六十七

ニ處ス

六十八

第二百七條 第二百一條乃至第二百六條ニ記載シタル文書ヲ行使シタル者ハ其文書ヲ作り又ハ増減、變換シタル者若クハ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ト同一ノ刑ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百八條 本節ノ罪ヲ犯シ無期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科スルコトヲ得一年以上ノ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付スルコトヲ得

第三節 有價券偽造ノ罪

第二百九條 行使ノ目的ヲ以テ公債證書、會社ノ株券、手形、切手其他

裏書ヲ以テ賣買シ又ハ金額ト交換ス可キ證券ヲ偽造シ又ハ増減、變換シ若クハ詐偽ノ裏書ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス
前項ノ證書、株券、手形、切手又ハ證券ヲ行使シタル者亦同シ
本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百十條 前條ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付ス

第四節 印章偽造ノ罪

第二百十一條 行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽又ハ御名ヲ偽造シタル者ハ有期懲役ニ處ス

御璽、國璽又ハ御名ヲ不正ニ使用シタル者亦同シ

六十九

第二百十二條 行使ノ目的ヲ以テ官印、公印又ハ官吏、公吏ノ印章、署名ヲ偽造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

官印、公印又ハ官吏、公吏ノ印章、署名ヲ不正ニ使用シタル者亦同シ

第二百十三條 行使ノ目的ヲ以テ官署、公署ノ記號ヲ偽造シタル者

ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

官署、公署ノ記號ヲ不正ニ使用シタル者亦同シ

第二百十四條 行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章、署名ヲ偽造シタル者

ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

他人ノ印章、署名ヲ不正ニ使用シタル者亦同シ

第二百十五條 行使ノ目的ヲ以テ官ヨリ發行スル各種ノ印紙、手形

用紙、郵便切手、封皮、葉書、帶紙又ハ郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手、封皮、葉書、帶紙ヲ偽造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ニ記載シタル各種ノ印紙、手形用紙、郵便切手、封皮、葉書、帶紙ヲ行使シタル者亦同シ

第二百十六條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百十七條 本節ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付スルコトヲ得

第五節 度量衡偽造ノ罪

第二百十八條 定規ヲ増減シタル度量衡ヲ製造シ又ハ販賣スル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

營業ノ用ニ供スル目的ヲ以テ定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所持シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十九條 允許ヲ得スシテ度量衡ヲ製造シ修覆シ又ハ販賣スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

檢定ヲ受ケサル度量衡ヲ販賣スル者亦同シ

營業ノ用ニ供スル目的ヲ以テ檢定ヲ受ケサル度量衡ヲ所持シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六節 偽證ノ罪

第二百二十條 司法裁判所、行政裁判所又ハ其他ノ裁判所ニ於テ宣誓シテ證人トナリタル者虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ十年以下ノ

懲役ニ處ス

刑事ノ被告人偽證ノ爲メ死刑ニ處セラレタルトキハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第二百二十一條 前條ノ罪ヲ犯シタル者證言シタル事件ノ裁判確定前自白シタルトキハ其刑ヲ減免スルコトヲ得

第二百二十二條 宣誓シテ鑑定人又ハ通事トナリタル者虚偽ノ鑑定又ハ通譯ヲ爲シタルトキハ前二條ノ例ニ依ル

第二百二十三條 本節ノ罪ヲ犯シ無期又ハ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科スルコトヲ得

第七節 誣告ノ罪

第二百二十四條 人ヲシテ刑事事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ不實ノ告訴、告發又ハ申告ヲ爲シタル者ハ第二百二十條第二百二十三條ノ例ニ依ル

第二百二十五條 誣告ヲ爲スト雖モ誣告シタル事件ノ裁判確定前誣告者自白シタルトキハ其刑ヲ減免スルコトヲ得

行政官廳ニ於テ懲戒處分ヲ爲ス可キ事件ニ付キ其處分前自白シタル者亦同シ

第九章 風俗ヲ害スル罪

第一節 猥褻、姦淫及ヒ重婚ノ罪

第二百二十六條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第二百二十七條 猥褻ノ圖畫其他ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣スル者ハ亦前條ノ刑ニ同シ

本條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ沒收例ヲ適用ス

第二百二十八條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十九條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ婦女ヲ姦淫シタル者ハ強姦ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者亦同シ

婦女ノ精神病意識喪失又ハ抗拒不能ニ乘シテ姦淫シタル者ハ強姦
ヲ以テ論ス

第二百二十條 前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百二十一條 第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ罪ハ被害者
ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二百三十二條 強姦ニ因リ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ五年
以上ノ懲役ニ處ス

第二百三十三條 營利ノ目的ヲ以テ淫行ノ常習ナキ婦女ヲ勸誘シテ
姦淫セシメタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス其

相姦シタル者亦同シ

前項ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但本夫姦通ヲ縱容シタル者
ハ告訴ノ効ナシ

第二百三十五條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ爲シタルトキハ二年以
下ノ懲役ニ處ス

第二百三十六條 第二百二十八條第二百二十九條及ヒ第二百三十二
條ノ罪ヲ犯シ無期又ハ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權
ヲ科ス

第二節 賭博及ヒ富籤ニ關スル罪

第二百三十七條 偶然ノ輸贏ニ關シ財物ヲ以テ博戲又ハ賭事ヲ爲シ

タル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但一時ノ娛樂ニ供スル物品ヲ賭シタル者ハ此限ニ在ラス

第二百三十八條 常習トシテ博戯又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

博戯場ヲ開張シ又ハ博徒ヲ結合シテ利ヲ圖リタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

本條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ再犯例ヲ適用ス

第二百三十九條 允許ヲ得スシテ富籤ヲ發賣シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

富籤發賣ノ取次ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ

罰金ニ處ス

本條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ再犯例ヲ適用ス

第二百四十條 允許ヲ得スシテ發賣シタル富籤ヲ購買シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十一條 本節ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ハ監視ニ付ス

第三節 神佛及ヒ死屍ニ關スル罪

第二百四十二條 神祠、佛堂、墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ行爲アル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰

金ニ處ス

第二百四十三條 死體又ハ遺骨ヲ毀損シ若クハ遺棄シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第二百四十四條 墳墓ヲ發掘シ又ハ毀損シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

因テ死體又ハ遺骨ヲ露出、遺棄若クハ毀損シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百四十五條 前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百四十六條 允許ヲ得スシテ改葬ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第十章 官吏、公吏及ヒ議員ノ職務ニ關スル罪

第二百四十七條 官吏、公吏其職權ヲ濫用シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ

行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮ニ處ス

第二百四十八條 裁判官、檢察官、警察官又ハ此等ノ職務ヲ行ヒ若ク

ハ補助スル者其職權ヲ濫用シ人ヲ逮捕、勾引又ハ監禁シタル者ハ

五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百四十九條 裁判官、檢察官、警察官又ハ此等ノ職務ヲ行ヒ若ク

ハ補助スル者又ハ囚人、監置人、懲治人ノ看守若クハ護送ノ職ニ在

ル者刑事被告人、囚人、監置人又ハ懲治人ニ對シ暴行又ハ陵虐ノ行

爲テ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百五十條 前三條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害

ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百五十一條 水火、風震其他非常ノ事變ニ際シ囚人、監置人又ハ懲治人ノ看守若クハ護送ノ職ニ在ル者避難ノ爲メ必要ノ處分ヲ爲サス又ハ爲サシメス因テ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ照シテ處斷ス

第二百五十二條 官吏、公吏、議員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂其他財産上ノ利益ヲ取得シ又ハ之ヲ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役及ヒ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササル者ハ五年以下ノ懲役及ヒ五百圓以下ノ罰金ニ處ス裁判官又ハ仲裁人ナルトキ八十

年以下ノ懲役及ヒ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ場合ニ於テ賄賂其他財産上ノ利益ヲ取得シタル者其價額罰金ノ多額以上ナルトキハ其價額以下ノ罰金ニ處スルコトヲ得

第二百五十三條 官吏、公吏、議員又ハ仲裁人ニ賄賂其他財産上ノ利益ヲ贈與、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役及ヒ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條 官吏、公吏、議員又ハ仲裁人賄賂其他財産上ノ利益ヲ取得シ又ハ約束セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サミ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササル者ハ第二百五十二條第二項ノ

例ニ依ル

第二百五十五條 官吏、公吏、議員又ハ仲裁人自己ニ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ利益ヲ得セシムル爲メ其職務ニ關スル秘事ヲ漏泄シタル者ハ三年以下ノ懲役及ヒ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十六條 第二百五十二條乃至第二百五十五條ノ罪ヲ犯シ一年以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科ス

第十一章 生命、身體ニ對スル罪

第一節 殺人ノ罪

第二百五十七條 人ヲ殺シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス
第二百五十八條 前條ノ罪ヲ犯シタル者左ニ記載タシル情狀アルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

一 直系ノ尊屬親ニ對シテ犯シタルトキ

二 豫メ謀テ犯シタルトキ

三 二人以上ヲ殺シタルトキ

四 支解、折割其他慘刻ノ行爲ヲ以テ犯シタルトキ

五 重罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ己ニ犯シテ其刑ヲ免カルル爲メ犯シタルトキ

第二百五十九條 前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百六十條 人ヲ殺スノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ監視ニ付スルコトヲ得

第二百六十一條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ被殺者ノ囑託ニ依リ

之ヲ殺シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百六十二條 本節ノ罪ヲ犯シ死刑又ハ無期懲役ニ處ス可キ者ニ

ハ剝奪公權ヲ科スルコトヲ得一年以上ノ有期懲役ニ處ス可キ者ニ

ハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視スルコトヲ得

第二節 傷害ノ罪

第二百六十三條 人ノ身體ヲ傷害シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁

錮若クハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

婦女ノ頭髮ヲ切斷又ハ毀損シタル者亦同シ

第二百六十四條 身體傷害ニ因リ左ノ結果ヲ生セシメタルトキ八十

年以下ノ懲役ニ處ス

一 一目又ハ兩目ノ視能ノ喪失

二 一耳又ハ兩耳ノ聽能ノ喪失

三 語能ノ喪失

四 一肢以上ノ使用ノ不能

五 陰陽ノ不能

六 重大ニシテ不治ナル精神又ハ身體ノ疾病

七 流産

第二百六十五條 身體傷害ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ有期懲役ニ

處ス

直系ノ尊屬親ニ對シテ犯シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ

處ス

第二百六十六條 前三條ノ犯罪アルニ當リ現場ニ於テ勢ヲ助ケタル者ハ自ラ人ヲ傷害セスト雖モ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

二人以上ニテ人ヲ傷害シ傷害ノ輕重ヲ知ルコト能ハサルトキハ同謀者ニ非スト雖モ共犯ノ例ニ依ル

第二百六十七條 暴行ヲ加フト雖モ人ヲ傷害スルニ至ラサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

本條ノ罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三節 過失殺傷ノ罪

第二百六十八條 過失ニ因テ人ヲ傷害シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ

處ス

本條ノ罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二百六十九條 過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百七十條 職務上必要ナル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 墮胎ノ罪

第二百七十一條 婦女ヲシテ墮胎セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百七十二條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百七十三條 婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ六月以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百七十四條 醫師、産婆又ハ藥劑師、婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

婦女ノ囑託ヲ受ケ謝金ヲ得テ墮胎セシメタル者亦同シ

第二百七十五條 懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ處ス

第五節 老幼者、疾病者ノ保護ヲ缺ク罪

第二百七十六條 老幼又ハ疾病ノ爲メ扶助ヲ要ス可キ者ヲ遺棄シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百七十七條 老者、幼者又ハ疾病者ヲ保護ス可キ責任アル者之ヲ遺棄シ又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲ササル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

直系ノ尊屬親ニ對シ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス
第二百七十八條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷

害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百七十九條 扶助ヲ要ス可キ老者、幼者又ハ疾病者ヲ現場ニ發見シタル者故ナク之ヲ扶助セス又ハ當該ノ官吏若クハ公吏ニ申告セサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第十二章 自由ニ對スル罪

第一節 逮捕及ヒ監禁ノ罪

第二百八十條 擅ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

若シ飲食、衣服ヲ屏去シ又ハ毆打其他苛刻ノ行爲ヲ施シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百八十一條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二節 脅迫ノ罪

第二百八十二條 人ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加ヘント脅迫シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加ヘント脅迫シタル者亦同シ

第二百八十三條 暴行ヲ用ヒ又ハ生命、身體、自由、名譽若クハ財産ニ對シ害ヲ加ヘント脅迫シ人ヲシテ義務ヲキコトヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加ヘント脅迫シ人ヲシテ義務ヲキコトヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者亦同シ

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百八十四條 本節ノ罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三節 人ヲ略取スル罪

第二百八十五條 父母又ハ其他ノ監督者ノ承諾ナクシテ二十歳未滿

ノ幼者ヲ略取シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

偽計又ハ威力ヲ用ヒ父母又ハ其他ノ監督者ノ承諾ヲ得テ略取シタル者亦同シ

第二百八十六條 營利ノ目的ヲ以テ偽計又ハ威力ヲ用ヒ人ヲ略取シ

タル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ偽計又ハ威力ヲ用ヒ人ヲ略取シタル者亦同シ

第二項ノ罪ハ被害者又ハ親族ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但略取セラレタル者婚姻ヲ爲シタルトキハ婚姻不成立又ハ無効ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ告訴ノ效ナシ

第二百八十七條 營利ノ目的ヲ以テ被略取者ヲ收受シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百八十八條 國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ略取シ又ハ賣買シ

タル者ハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

略取又ハ賣買セラレタル者ヲ國外ニ移送シタル者亦同シ

第二百八十九條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十三章 名譽ニ對スル罪

第二百九十條 惡事醜行アリトシテ公然之ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損

シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス六月以下ノ懲役又ハ禁錮若クハ百

圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣罔ニ出ルニ非サレハ之ヲ罰セス

第二百九十一條 惡事醜行ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者

ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二百九十二條 本章ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親族若クハ遺族ノ告

訴ヲ待テ之ヲ論ス

第十四章 財産ニ對スル罪

第一節 賊盜ノ罪

第二百九十三條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ再犯例ヲ適用ス

第二百九十四條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百九十五條 本節ノ罪ヲ犯シ死刑又ハ無期懲役ニ處ス可キ者ニ

ハ剝奪公權ヲ科シ六月以上ノ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權

ヲ科シ之ヲ監視ニ付ス六月未滿ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權

ヲ科シ之ヲ監視ニ付スルコトヲ得

第二百九十六條 直系ノ親族及ヒ同居ノ親族互ニ本節ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免シ其他ノ親族ニ係ルトキハ被害者ヲ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但共犯者ハ此限ニ在ラス

強盜ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第二百九十七條 自己ノ財物ト雖モ質權又ハ留置權ニ因リ他人ノ占有ニ屬シ又ハ官署若クハ公署ノ命ニ依リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ他人ノ財物ヲ以テ論ス

第一款 竊盜ノ罪

第二百九十八條 人ノ動産ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二款 強盜ノ罪

第二百九十九條 暴行ヲ用ヒ又ハ現ニ被害者又ハ被害者ニ於テ救護ス可キ者ノ生命、身體、自由若クハ財産ニ對シ危害ヲ加ヘント脅迫シテ人ノ動産ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第三百條 前條ノ方法ヲ以テ不法ニ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百一條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第三百二條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ

處ス

第二百三三條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ其刑ヲ免カルル爲メ臨時暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第二百四條 人ヲ昏醉セシメテ其動產ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第二百五條 強盜ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ監視ニ付ス

第三款 恐喝盜ノ罪

第二百六條 第二百九十九條ニ記載シタル以外ノ脅迫ヲ用ヒ人ノ動產ヲ強取シタル者ハ恐喝盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百七條 前條ノ方法ヲ以テ不法ニ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシ

テ之ヲ得セシメタル者ハ恐喝盜ヲ以テ論ス

第四款 詐欺盜ノ罪

第二百八條 人ヲ欺罔シテ動產ヲ騙取シタル者ハ詐欺盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百九條 前條ノ方法ヲ以テ不法ニ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ詐欺盜ヲ以テ論ス

第二百十條 未成年者ノ知慮淺薄ニ乘シテ其財物ヲ授與セシメ又ハ不法ニ財産上ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ詐欺盜ヲ以テ論ス

第二節 占有物横領ノ罪

第三百十一條 他人ノ爲メ占有スル動産又ハ不動産ヲ横領シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

自己ノ動産ト雖モ官署又ハ公署ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ横領シタル者亦同シ

第三百十二條 業務上他人ノ爲メ占有スル動産又ハ不動産ヲ横領シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ六月以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付ス

第三百十三條 遺失物、漂流物、其他人ノ占有ヲ離レタル動産ヲ得テ之ヲ横領シタル者ハ第三百十二條ノ例ニ依ル

第三百十四條 本節ノ罪ニハ第二百九十六條第一項ヲ適用ス

第三百十五條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ再犯例ヲ適用ス

第三節 贓物ニ關スル罪

第三百十六條 犯罪ニ係ル贓物ヲ受ケタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

若シ寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ再犯例ヲ適用ス

第三百十七條 前條ノ罪ヲ犯シ六月以上ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付ス六月未滿ノ懲役ニ處ス可キ者ニハ剝

奪公權ヲ科シ之ヲ監視ニ付スルコトヲ得

第三百十八條 直系ノ親族又ハ其配偶者若クハ同居ノ親族ノ間ニ於テ第三百十六條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免ス

第四節 財物毀棄ノ罪

第三百十九條 官署又ハ公署ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

權利又ハ義務ニ關スル人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百二十條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ不法ニ毀壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三百二十一條 前二條ニ記載シタルヨリ以外ノ物ヲ毀損傷害シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百二十二條 自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ又ハ物權ヲ設定シ若クハ保險ニ付シタルモノヲ毀損シタルトキハ第三百十九條乃至第三百二十一條ノ例ニ依ル

明治三十年十二月廿五日印刷
全年全月廿八日發行

司 法 省

東京市芝區櫻川町二番地

發行人 大分縣平民 十時權次郎

東京市芝區田村町二十番地

印刷人 大分縣士族 加藤熊治

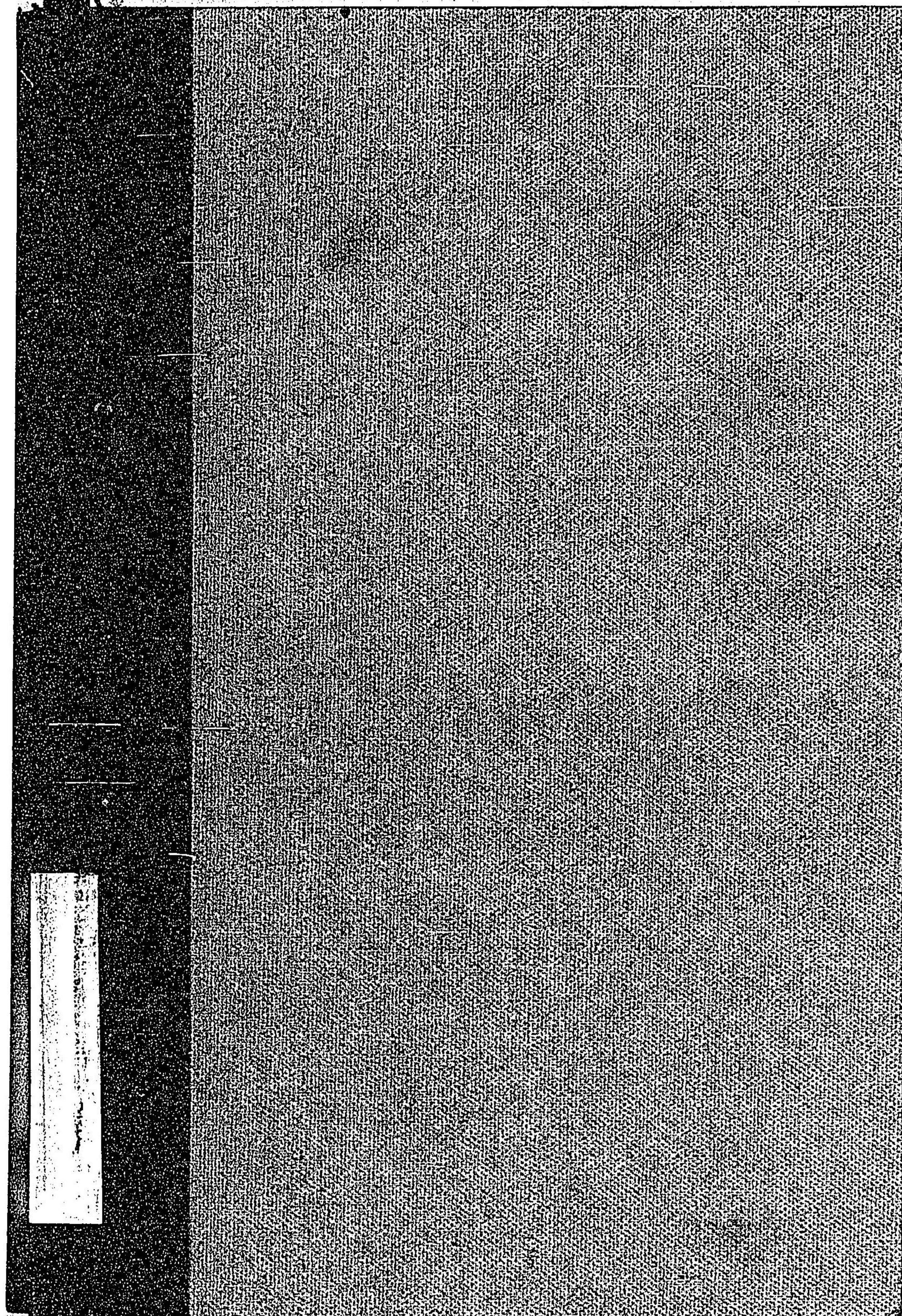
東京市京橋區采女町十五番地

發行所 東京通信社

東京市京橋區加賀町十三番地

印刷所 元真社

IT-35-17



12

40

591

刑法草案

国立国会図書館

035761-000-5

40-591

刑法草案

司法省／編

M30

BBP-0345

